

キャリアNews

No.1

個人の生き方・働き方が多様化する中で、組合員のなかには自身のキャリアで悩んでいる方もいます。もし相談があった時、私たち労働組合の執行委員はどのように対応したらいいのでしょうか。
この「キャリアNews」では相談事例をもとにどのように支援すればいいのか、経験豊富なキャリアカウンセラーがアドバイスします。

相談事例 入社3年目 Aさん(女性) エンジニア



私は、理工学部で電子工学系を勉強し、念願のロボットの設計の仕事をしています。ただ、入社するにあたり、具体的にはロボットの制御に関する仕事をしたいと要望を出し、了解をいただいたのですが、制御とは違う分野の設計をしています。上司には、制御関係の仕事をしたいと面談のたびに伝えていますが、もう少し待ってくれと言われるばかりです。自身のキャリアを考えると、やりたいことができるようになるのか不安です。

Aさんは上司にやりたい仕事(ロボットの制御)を伝えてはいるものの、待ってくれと言われており、自身のキャリアを考えるとやりたいことができるようになるのか不安を抱えています。

まずは相談者の状況、相談にきた目的、抱えている課題を考えてみましょう。



状況

- Aさんの不安の中身は、どんなことでしょうか。
 - Aさんが不安を感じているのは、何故でしょうか。
 - 「自身のキャリアを考える」とは、どんな意味合いでしょうか……
- お聴きしたいこと、確認したいことがいろいろと出てきます。

目的

- 不安を聞いてほしいのでしょうか。
 - 不安への対応の仕方を知りたいのでしょうか。
 - **やりたいことができるようになるには、どうしたらよいか対応方法を知りたい**のでしょうか。
 - Aさんは、相談したいことが漠然としているのでしょうか……
- いろいろと考えられます。

課題

- やりたいことができなくなるのではないかと思い込んでいるのでしょうか。
 - 上司が「少し待ってくれ」と言っている意味を把握しているのでしょうか。
 - 制御とは違う分野の設計は、ロボットの制御に関する仕事に役立てることはできないのでしょうか。
 - ロボットの制御に関する仕事をやりたい理由をAさんは理解しているのでしょうか。
 - 入社3年目と仕事歴としてはまだ短期間であり、先々が長いことの認識が不十分なのではないのでしょうか……
- 様々な捉え方ができます。

考察をふまえて、どのように支援できるでしょうか。

例えば、Aさんの相談したいことが、「やりたいことができるようになるには、どうしたらよいのか対応方法を知りたい」と仮定し、一つの支援方法を考えてみましょう。

承認

①Aさんは不安を抱えています。まずは、どんな不安がしっかり聴き、受け止めることが不可欠です。「Aさんの不安な気持ちを否定せず、そのまま承認します。」

一緒に考える

②「自分のキャリアを考える」と言っていますので、自分のキャリアを考えていることを労い、承認します。

情報提供

③上司から「少し待ってくれ」と言われた時の少し残念な気持ちを聴き、受け止めます。その上で、「待ってくれ」と言っている上司の考えや立場について、一緒に考えます。場合によっては上司にその意味などを聞いてみることを提案します。

提案

④やりたい「ロボットの制御に関する仕事」に役立つことが、現在の仕事の業務にないのか、また役立てるように仕事をすることはできないのかを一緒に検討し、やりたい仕事へ備えるという働き方を一つの方法として情報提供します。

⑤先輩のエンジニアに、キャリアパスや入社数年後の頃の経験などを聞いて、入社3年目という時期や中期的なキャリアパスへの理解を深めることを提案してみます。

以上は、相談者を支援するための一つの考え方、一つの方法事例です。

相談者は、様々な事情や考え、特徴をもっています。相談者の状況を踏まえて、支援できることを探し、関わります。

～あなたのキャリア(しごと人生)と一緒に考えます～

働く私たち自身が自らの手で自分らしい生涯を作り出していくために、「電機連合キャリアデザインセンター」では経験豊富なキャリアカウンセラーが電話相談に応じ、あなたのキャリア(しごと人生)と一緒に考えます。プライバシーもしっかり保護されますので、安心してご相談下さい。

～キャリアについて、あなたの？を気軽にお話し下さい～



小竹光晴 先生

人事経験30余年の中で、新卒、中途採用を含め5万人以上の応募書類を読み、5千人以上と面接した経験を持つ。採用者側の視点と自分自身の数回の転職経験から、就職者の立場や気持ちが分かるキャリアカウンセラーとして、学生、社会人の就職、転職、キャリア支援に携わる。現在、再就職支援セミナーの講師、キャリアカウンセリング、新卒・中途採用コンサルティング、(株)ヴァイタルサポート代表取締役として活動中。



山本貞明 先生

いくつかの職業を経験した後、製造業を自営。1998年社会保険労務士として開業、同時に産業カウンセラー・キャリアコンサルタントを取得し、キャリアカウンセラーとして活動を始める。働く人の考えや興味など、その人らしさを大切に、1800人以上のキャリア支援に関わる。現在、就職支援機構における転職・再就職相談、大学キャリアセンターにおける進路・就職相談、企業内キャリアプランニング研修におけるキャリア形成支援という、主に3つのフィールドで活動中。

対象

組合員本人とその家族
(配偶者・子ども)

時間

最長50分

原則

毎週水曜日(祝日、年末年始を除く)
17:00～20:00

見つけよう つよみ

0120-324-243 (通話料・相談料無料・携帯からも可)

電機連合キャリアデザインセンター

検索